



ボランティアセンターだより

2019年7月 No. 128号

初心者歓迎

「災害ボランティア養成講座」 の参加者募集!

近年各地では、風水害や地震などによる災害で大きな被害が発生しています。そのような中で、災害時におけるボランティア支援は大きな力となっています。災害ボランティアの必要性を学ぶとともに、いざという時のために自分たちに何ができるかを考える機会として、講座を開催します。



日時 **8月2日** (金) 13時30分~

場所 働く婦人の家 2階
(南あわじ市市青木 198-1)

内容

災害ボランティアセンターの役割について
ボランティア活動者のお話し
グループワーク など

申込 7月26日〆切



サマーチャレンジボランティア

“ボランティア活動を始めてみたい!”, “いろんなボランティア活動を体験してみたい!”
という高校生以上の参加者を募集中! 活動プログラムの中から、興味のある活動を選んで体験してみませんか!



実施期間

7月22日 (月) ~ **9月30日** (月)

参加対象

南あわじ市在住・在勤・在学する高校生以上

参加費

無料 (ただし保険加入が必要: 500円)

活動プログラム

福祉施設等での利用者との交流
レクリエーションのお手伝いなど

※詳しくはお問合せください。

募集中のボランティア

① 納涼祭のお手伝い

日時: 7月27日 (土) 16時頃~

場所: 特別養護老人ホーム 緑風館

内容: 納涼祭での受付や屋台のお手伝い



② 障がい児の余暇支援サークル

子どもたちと一緒に遊んでくれる方を募集しています。

◆8月9日 (金) 13時~16時頃

マリンスポーツ/B&G 海洋センター艇庫

◆8月29日 (木) 13時~16時頃

障がい者スポーツ/南あわじ市文化体育館



おもいやりポイント制度説明会

日時 **7月23日** (火) 14時~

場所 養護老人ホーム さくら苑

活動者の話しも聞ける!



鈴虫の里親を募集しています

今年もボランティアの方が飼い始めた鈴虫が孵化し、子どもたちがたくさん育っています。里親を希望される方はボランティアセンターまでご連絡ください♪

TOKYO
OLYMPICS
2020



東京オリンピックまで、約1年となりました。聖火リレーのコースとして、南あわじ市の慶野松原も経由するそうですね。オリンピックでも、多くのボランティアさんが活躍されることでしょう。開催を楽しみに待ちたいと思います♪

発行 南あわじ市社会福祉協議会 ボランティアセンター
〒656-0122 南あわじ市広田広田 1064
TEL: 44-3007 FAX: 44-3037
MAIL: info@minamiawaji-shakyo.or.jp



生活支援コーディネーターだより



NEW

新しいサロンのご紹介♪

うずしお台いきいきクラブ



うずしお台は平成 14 年に福良自治会加入時に自治会として生まれました。広大な海の景色が眼下に広がる高台にあり、子育て世代も多く、活気がある地域です。しかし、住民の方たちは、近所の人にはわかる程度で地域の絆がうすいと不安に思われており、何かのきっかけで集うことができないか！という思いで、うずしお台コミュニティセンターで百歳体操を始めたのをきっかけとしてサロンが立ち上がりました。5 月に始めてのサロンがあり、百歳体操の後、ゆっくりとお茶を飲みながら地域の話が多く語られていました。「男性がいると心丈夫！」と女性陣と男性陣との調和もできています。

また、一緒に参加した県の保健師さんが地域の高齢者の方に聞いた「自立とは元気に今を居られること。一人では生きてはいけない。毎日を助けられて生きている。」という言葉を紹介してくださいました。みなさんは同感され、集うということの大切さを再確認できました。うずしお台は子どもたちも多く、「うずしお台の子どもたちとも関わりもできたら。」と地域の活性化にも気持ちを寄せておられました。



皆さんからの善意の毛糸が生まれ変わりました！



ちどり会（松帆）

松帆地区公民館において、月に 2 回ちどり会の集いがあります。編み物の得意な方々ばかりで、おしゃべりしながら帽子やマフラーなどの編み物を楽しんでいます。得意な編み物を活かして何か出来ないかと考え、「施設入所の方がお使いになるひざ掛けを皆で編もう！」ということになり、「生活支援コーディネーターだより」を利用して毛糸の募集をさせていただきました。呼びかけで集まった毛糸でひざ掛けを編み、ひざ掛けは施設に寄付されました。



市内のボランティアさん（毛糸の魔術師さん？）

1 本の毛糸から魔法のように色々な物になっていくのが不思議なくらいです。集まった毛糸をお持ちしたところ、いちご型の台所たわし、靴下、帽子、ひざ掛け…へと変わっていきました。「次は何を編みましょうか？」と、まだまだひろがりがあるようです。出来上がった作品は、福祉施設などに寄付予定です。

パイプいす
を探しています！



おうちで使わなくなった「パイプいす」はありませんか？
百歳体操などの**室内で使用可能なもの**があれば、
社協にご連絡ください。